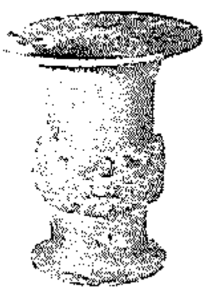
資料２

(12) 9
【尊】 2606 教6 ソン・たっとい・とうとい・たっとぶ・とうとぶ
(12) 9
〔尊〕 2607 ソン 漢 zūn
3426
423A

筆順 丷　芇　酋　尊

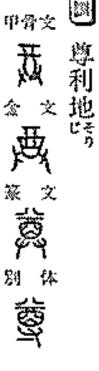
❶**たっとい**（たつとし）。**とうとい**（たふとし）。身分や価値が高い。また、そのものや人。↕卑。「至尊」❷たかい。また、重い。❸**たっとぶ**。**とうとぶ**（たふとぶ）。うやまう。あがめる。重んずる。「尊敬」❹たかぶる。えらそうに振る舞う。「尊大」❺敬称の一。他人に関する事物の上につけて敬意を表す。「尊顔」❻酒を入れる容器。古代の酒器。＝樽・罇（ソン）。「酒尊」⇩囲み記事「青銅器」　国**みこと**。神や貴人に対する敬称。「日本武尊（やまとたけるのみこと）」


尊（春秋時代）⑥

古訓 ㊔タフトシ・タカシ・オモシ・ウヤマフ

名乗 たか・たかし

難訓 尊利地（そりじ）

解字


形声。酋＋寸（音）。音符の寸は、ずんぐりした親指の象形。酋は、酒だるの象形。ずんぐりした酒だるの意味を表す。篆文（テン）は、酋＋廾の会意。廾は、両手の象形。両手で酒だるをささげて、たっとぶの意味を表す。

■〈同訓異義〉**たっとぶ・とうとぶ**（たふとぶ）**・たっとい**（たつとし）**・とうとい**（たふとし）〔貴（キ）〕価値あるものとして、重んじる。↕賤（セン）。「貴重」〔尚（ショウ）〕大切にする。重んじる。「尚古」「尚武」〔崇（スウ）〕あおぎとうとぶ。尊敬する。「崇敬」〔尊（ソン）〕うやまいとうとぶ。↕卑。「尊敬」「尊崇」〔右（ユウ）〕昔、右を上位としたことからの転義。尊重する。「右文」■現代表記では、尊敬・尊厳の意に当たる場合は〔尊〕、貴重・高貴の意に当たる場合は〔貴〕というように使い分ける。「祖先を尊ぶ」「尊い犠牲」「真実を貴ぶ」「貴い人命」

▼一尊・家尊・犠尊・金尊・三尊・三達尊・至尊・自尊・釈尊・酒尊・世尊・大尊・追尊・天尊・独尊・独立自尊・不動尊・匏尊（ホウソン）・本尊・唯我独尊・罍尊（ライソン）

---

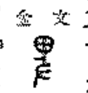
(9) 7
【卑】 1120 常 ヒ・いやしい・いやしむ・いやしめる
(8) 6
〔卑〕 1121 ㊀ヒ 漢 bēi ㊁ヒ 呉 bǐ
4060
485C

筆順 ⺆　巾　由　甶　卑

㊀❶**いやしい**（いやし）。㋐身分・地位が低い。↕尊。㋑人格・教養が低い。下品・下等である。「野卑」㋒みすぼらしい。とるに足らない。威勢がない。❷**いやしむ**。いやしめる。みくだす。❸いやしくする。低くする。❹いやしいもの。身分・地位などの低いもの。❺**ひくい**（ひくし）。㋐高さが低い。位置が低い。↕高。㋑態度がへりくだる。❻ひくい所。❼自己に関することの謙称。「卑見」　㊁しむ。せしむ。…させる。使役の助字。〔詩経、小雅、節南山〕卑㆓民不㆑迷（たみをしてまよはざらしむ）。

参考 鄙（11767）の書きかえに用いることがある。「野鄙→野卑」

古訓 ㊔イヤシ・ミシカシ・ツタナシ・ヤハラカニ・クタル・アタフ・スヘテ・タマフ・アタマ

解字


象形。取手の付いた丸い酒だるに手をかけている形にかたどり、日常使用品である「たる」の意味から、転じて、祭器用のものにくらべて「いやしい」の意味を表す。卑を音符に含む形声文字に、俾（ヒ）・埤（ヒ）・婢（ヒ）・脾（ヒ）・碑・裨（ヒ）・陴（ヒ）・髀（ヒ）などがある。

■〈同訓異義〉**いやしい**（いやし）〔賤（セン）〕身分がひくい。また、品性がおとっている。↕貴。「貧賤」〔卑（ヒ）〕教養または身分や地位がひくい。↕尊。「卑賤」〔鄙（ヒ）〕いなかびている。下品。↕都。「野鄙」〔俚（リ）〕＝鄙。「俚言」〔陋（ロウ）〕心がせまく下品である。「陋習」■現代表記では、下品・低い地位などほぼすべてについて〔卑〕を用いる。「金に卑しい」「家がらが卑しい」

▼下卑・謙卑・高卑・自卑・鮮卑・尊卑・男卑・女卑・天尊地卑・野卑

公明党　國重徹　／　平成30年４月４日　／　衆議院法務委員会
出典：鎌田正、米山寅太郎著『大漢語林』（大修館書店、1992年）より抜粋